

WedsSport

TOYOTA
motor sports

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

UP START

NUTECH
Racing

End Liner

Jms

AD アイシン/開発

ECLIPSE

KTEL

REAR VIEW
MONITOR

KYB

ÖHLINS

TAKATA

POMEC

SARD

APP

WedsSport
Racing Team
with **BANDO**H

2008年度 SUPER GT 開幕！

**BANDOにチャンピオンをもたらした熱い男
が帰ってきた！！**



- 開催日：2008年3月14日～16日
- コース：鈴鹿サーキット(全長5.807km)
- 天候：<予選> 晴 <決勝> 晴
- 路面コンディション：<予選> ドライ <決勝> ドライ
- チーム：WedsSportRacingTeam with BANDO H
- 車名：ウェッズスポーツセリカ <GT300 ゼッケン19>
- ドライバー：織戸 学 / 阿部 翼
- 監督：坂東正敬
- 観客動員数：予選 20,000/ 決勝32,000人

WedsSport

TOYOTA
motor sports

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

UP START

NUTEC
Racing

End Liner

Jms

AD アイシン/開発

ECLIPSE

KTEL **REAR VIEW MONITOR**

KYB **ÖHLINS**

TAKATA **POMEC**

SARD **APP**

2008年度スーパーGTが開幕しました。

今年は新車レクサス「IS350」を第3戦富士GT500kmより投入予定で、シーズンオフからチーム一丸となって活動しています。メインスポンサーには、長年お世話になっている株式会社ウェイズ様が今年も継続して頂ける事になり、今年のドライバーは、1997年レーシングプロジェクトバンドウとともに、シリーズチャンピオンを獲得した織戸 学選手を向かえ、セカンドドライバーに阿部 翼選手を起用いたしました。

また、監督には坂東正明に代わり、「爆走坂東組」2代目として、坂東正敬が就任いたします。

第1戦鈴鹿、第2戦岡山は「セリカ」での参戦となりますが、確実にポイントを獲得し、シリーズチャンピオンを目指して行きたいと思います。

「爆走坂東組」第2章にご期待ください。



フリー走行 3月14日(金)

1回目(混走) 10時00分～11時45分

気温:12度 路面温度:13度 天候:雨

路面状況:ウェット

朝から雨が降っており、ウェットコンディションでのスタートとなった。

両ドライバーともセリカに乗るのは初めてだったが、織戸選手は開幕戦1番手でPITをスタートした。

1LAP目に2分42秒579を記録し、その後3LAP走行してPIT IN、阿部選手に交代した。GT初参戦の阿部選手は緊張することも無く、3LAPを走行し、午前中の走行を終えた。

予選、決勝ともに、天気予報では晴れの為、データ収集など出来ない為、走行するチームは少なく、GT500、GT300合わせて17台しか走行しなかった。



2回目(占有走行) 14時15分～16時00分

気温:14度 路面温度:16度 天候:曇
路面状況:ウェット

午後には雨は止み、曇り空にはなったが、路面はウェット状態。午前中に予定されていた、セーフティカーシュミレーションから始まる。

ドライバーは織戸選手、ウェットタイヤでスタート。車のセットアップはドライのセットで走行、13LAPを走行し、11LAP目には2分25秒791を記録した。阿部選手に交代し、3LAP目にコースアウト。ベストタイムは2分27秒338を記録した。

最後には決勝用にスリックタイヤの皮むきのため織戸選手が走行、本日のベストタイムの2分23秒581を記録し、GT300クラス9番手のタイムとなった。



織戸選手

初めてのセリカドライブとなったが、あいにくのヘビーウェットコンディションでまともに走れず、予選、決勝のために、車とタイヤの確認をしたかったが、雨での走行の中にも方向性が見えてきたので、セリカのパフォーマンスを出し切って、グリッド前方のほうから表彰台を目指したいと思っています。

翼に関しては、少しずつ車に慣れてきているので心配はしていません。

WedsSport

TOYOTA
motor sports

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

UP START

NUTEC
Racing

Old Line

Jms

AD アイシン/開発

ECLIPSE

KTEL

REAR VIEW
MONITOR

KYB

ÖHLINS

TAKATA

POMEC

SARD

APP

阿部選手

初めてのスーパーGTでのレインコンディションは思ったよりスリッピーで大変でしたが、織戸選手のアドバイスで少しずつ車にも慣れてきました。明日は今日よりもタイムを上げて走れるよう頑張ります。

坂東監督

ウェットコンディションの為、ドライバーのセットアップが出来なかったのが残念でした。阿部に関しても今回は乗る機会も少なく、コースアウトしてしまいましたが、今後の成長に期待しています。



公式予選 3月15日(土)

1回目 10時00分～10時20分(GT300)

10時54分～11時14分(混走)

気温:13度 路面温度:20度 天候:晴れ

路面状況:ドライ

午前中に行われた公式予選1回目、この午前中にタイムを出さないとスーパーラップには残れない。アタックは織戸選手、1LAP目から気合の走行で2分7秒236を記録し、2LAP目には2分7秒316を記録。

PIT INをして他のチームの様子を伺う。この際に、リアの車高調整とウイングのガーニーフラップを調整する。

予選時間半分を過ぎると、7号車ORC雨宮SGC-7が2分6秒443を記録しトップに躍り出た。

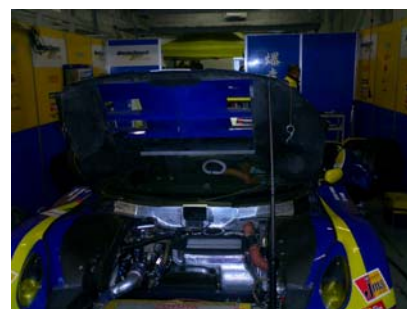
残り時間5分となったところで、62号車WILLCOM VEMACが130Rでクラッシュ。スポンジバリアに激突し、車両が宙に舞うほどのクラッシュだった。



このため赤旗中断となるが、この時点で19号車ウェッズスポーツセリカは5番手タイムになっていた。

スーパーラップを確実に進出するため、2Set目のNewタイヤを装着し、再度コースイン。アタックラップに2コーナーでオーバーステアがでたためにアタックを中止した。しかしながら、他のマシンもタイムが伸びず、最終的にはGT300クラス9番手のタイムで予選1回目(GT300)を終えた。

GT500占有時間のあと、再び予選1回目、混走時間が始まった。この時間は、阿部選手の予選タイムクリアの為の時間とされ、阿部選手がスタートした。しかし、順調に周回数を重ねていたところ、GT500,22号車 MOTUL AUTECH GT-R とヘアピンで接触、スピンしてしまい、車両点検の為PIT IN、今回の予選が終わった。この時点での阿部選手のベストラップは2分11秒392だった。GT500との接触でペナルティーが課せられ、ベストラップ抹消になったが、2分7秒316の2番手タイムがあり、19号車ウェッズスポーツセリカは最終的に、初戦としては上出来の9番手のタイムでスーパーラップ進出を果たした。



2回目 14時00分～14時15分(GT300)

気温:17度 路面温度:30度 天候:晴れ
路面状況:ドライ

この占有走行2回目、スーパーラップ進出車はスーパーラップに向けてのマシンチェックを行う。惜しくもスーパーラップ進出を逃したマシンも決勝に向けてのマシンチェックや燃料満タン時のタイヤの磨耗、バランスなどをチェックする。19号車ウェッズスポーツセリカはスーパーラップに進出が決定しているので、スーパーラップのためにセットアップを行う。

織戸選手が走行し、リアダンパーなどの足回りのセットを変えてスーパーラップに挑む。



スーパーラップ GT300クラス14時35分～15時15分

気温:17度 路面温度:30度 天候:晴れ
路面状況:ドライ

今年で6年目になるセリカはスーパーラップに残った。
6年と言えば、レース車両としては1世代前の車両になるだろう。
そのセリカが現役でスーパーラップに残れるのは、車両の基本性能と、織戸選手のドライビングセンスの賜物だと思う。
織戸選手はスーパーラップで2分6秒980のタイムを叩き出し、明日の決勝グリッドを7番手、4列目まで上げた。



織戸選手

初めてのドライセッションで、
去年のデータを基に自分の
フィーリングでアタックしてみた
が、スーパーラップに残るこ
とが出来ました。

ただ、予選でタイヤを2セット使っ
てしまったところが悔やまれるが、スーパーラップは自分の持つ力
を発揮できたと思う。決勝に向けては、ドライバー、監督、メカ
ニックを含め、コミュニケーションをとりながら、悔いの無いレース
をしていけば、最高のレースになると思う。

WedsSport

TOYOTA
motor sports

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

UP START

NUTEC
Racing
End Liner

Jms
JMS

AD アイシン/開発

ECLIPSE

KTEL **REAR VIEW MONITOR**

KYB **ÖHLINS**

TAKATA **POMEC**

SARD **APP**

阿部選手

初めてのドライコンディションでセリカをドライブしましたが、思ったようにドライブできませんでした。織戸選手のアドバイスとデータロガーで自分の欠点が少しずつ分かってきたので、明日の決勝は頑張りたいと思います。

坂東監督

予選6番手を目標として鈴鹿に来ましたが、結果は7番手と言うことで満足しています。阿部選手の乗る機会が少なかったのですが、決勝に向けてもう少し作戦を練れば表彰台が見える位置にかなり近づいていると思う。決勝の作戦は、織戸選手でスタート、2/3を担当し、阿部選手で1/3を担当させるつもりです。今後の課題は見えてきているので、チームをまとめて表彰台を目指します。





決勝 3月16日(日) 52周 14時00分～

気温:19度 路面温度:33度 天候:晴れ

路面状況:ドライ

スーパーGTの開幕セレモニーから始まり、昨年よりも暖かな春らしい気温となった。決勝レースは14時に、きれいに晴れ渡った青空の下でスタート。昨年のこのレースは強風に悩まされたが、今年はあまり風が無い。

作戦では、織戸選手にスタート、ロングディスタンスを担当してもらい、28LAPから31LAPを走行し、阿部選手に交代しチェッカーを目指す。

この開幕戦で「爆走坂東組」の第2章のスタートになる。

オープニングラップでGT500の12号車カルソニック IMPUL GT-Rが接触、スピン。その後、織戸選手はロングステイントのためプッシュはせず、タイヤマネジメントのため一時、順位を11位まで落とすが、10番手走行の95号車ライトニング マックイーン apr MR-Sがシケインでスピン、19号車ウェッズスポーツセリカはポジションを上げた。12LAP目、66号車DGRQ ムルシエルRG-1をパスし、9番手に浮上、織戸選手はタイヤマネジメントを最優先に考え走行しているが、確実にポジションを上げていった。15LAP目には1つポジションを上げ8番手に、このときのトップは2号車プリヴェKENZOアセット・紫電で、2位はリストリクターが実質1ランクダウンの7号車ORC雨宮SGC-7となっていた。今年のレギュレーションで、GT300クラスは実質リストリクターが2ランクダウンして全体的に性能を落とされている。

21LAP目、GT300クラスではレース周回数の半分近くになり、PIT INするチームが出てきた。27LAP目には2番手まで上がり、今回の作戦どおりに進んでいた。31LAP目にGT初参戦の阿部選手に交代するため、PIT IN。

阿部選手は緊張する様子も無く、ドライバー交代をスムーズにこなしPITを離れていった。昨日の夜、ドライバー交代の練習を織戸選手と共に行っていた成果が出ていた。コースに戻ったときの順位は7番手でスタートポジションまで回復していた。阿部選手は残り15LAPを果敢に攻めるが、前を走る77号車クスコDUNLOPスバルインプレッサとのギャップは20秒以上あり、ファイナルラップまでには届かなかった。

6年目のセリカと、新生坂東組は開幕戦を7位ポイント獲得という成績で終えたが、次の第2戦岡山ではセリカの有終の美を飾ることが出来るだろうと今回のレースで感じ取れた。

WedsSport

TOYOTA
motor sports

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

UP START

NUTEC
Racing

End Liner

Jms

AD アイシン/開発

ECLIPSE

KTEL

REAR VIEW
MONITOR

KYB

ÖHLINS

TAKATA

POMEC

SARD

APP

織戸選手

正直無事に終わって
ほっとしている。

結果にはもちろん満足はして
いないが、僕らが今のところ
持っている中ではパーフェクト
なレースだったと思う。

今回のレースを終えて
いろいろと見えてきました。

第3戦富士の新車投入までに
その部分を作り上げることが
出来れば、必ずや手強い

レーシングプロジェクトバンドウになると確認しました。とにかく今年
は間違いなくチャンピオンになります。応援宜しくお願い致します。



阿部選手

初めてのGT選手権参戦ですが、
ドライバーチェンジから自分の
レースがスタートし、極度の
緊張感もなくコースへ出て行く
ことが出来ました。

今回は残り15周を安定していて
速いラップタイムで走りたいという
気持ちで走りましたが、

今までの感覚で速く走らせよう
とすると、マシンが上手く動いて
くれない歯がゆさで、自分に腹が立ち悔しい気持ちになりました。
FRのセリカを速く走らせる引き出しを作り、1周でも速く自分の物
に出来るように勉強したいと思います。

今までのレースで経験の無いGT500のマシンに抜かれ方には慣れ
てはきましたが、自分のラップタイムを落とさないようにする走り方は
次戦の岡山では克服したいと思います。

そして、最後にレースウィークドライビングアドバイスを細かくして下
さった織戸さん、僕を乗せることは決断して下さった坂東監督、ス
ポンサーでいただいている方々、チームスタッフの方、次戦の岡
山では今回よりも良いパフォーマンスを出していきますので期待し
ていて下さい。



WedsSport

TOYOTA
motor sports

Racing Development
TRD

ADVAN
YOKOHAMA

UP START

NUTEC
Racing

End Liner

Jms

AD アイシン/開発

ECLIPSE

KTEL **REAR VIEW MONITOR**

KYB **ÖHLINS**

TAKATA **POMEC**

SARD **APP**

坂東監督

もちろん表彰台には
上がりたかったが、
ミス無く戦えて7位は満足し
ている。車に関しては、正直、
引き出しはもう無い。

今回はヨコハマタイヤさんの
すばらしいタイヤで織戸選手も
2/3をタレることなく走れたのも収穫です。次の岡山が厳しいのは
分かっていますが、チームの流れで何とか表彰台に立てるように
もう一度チームワークを整えたいと思います。



予選結果

1	2	プリヴェKENZOアセット・紫電	2' 05.169
2	7	ORC雨宮SGC-7	2' 05.502
3	26	ユンケルパワータイサンポルシェ	2' 06.118
7	19	ウェッズスポーツセリカ	2' 07.980

決勝結果

1	7	ORC雨宮SGC-7	1:45' 39.045
2	2	プリヴェKENZOアセット・紫電	0' 14.827
3	26	ユンケルパワータイサンポルシェ	0' 31.316
7	19	ウェッズスポーツセリカ	1LAP

ポイントランキング

1	7	ORC雨宮SGC-7	23
2	2	プリヴェKENZOアセット・紫電	18
3	26	ユンケルパワータイサンポルシェ	14
7	19	ウェッズスポーツセリカ	6